

# ●●池 汚濁水処理 概要

株式会社エコサイエンス

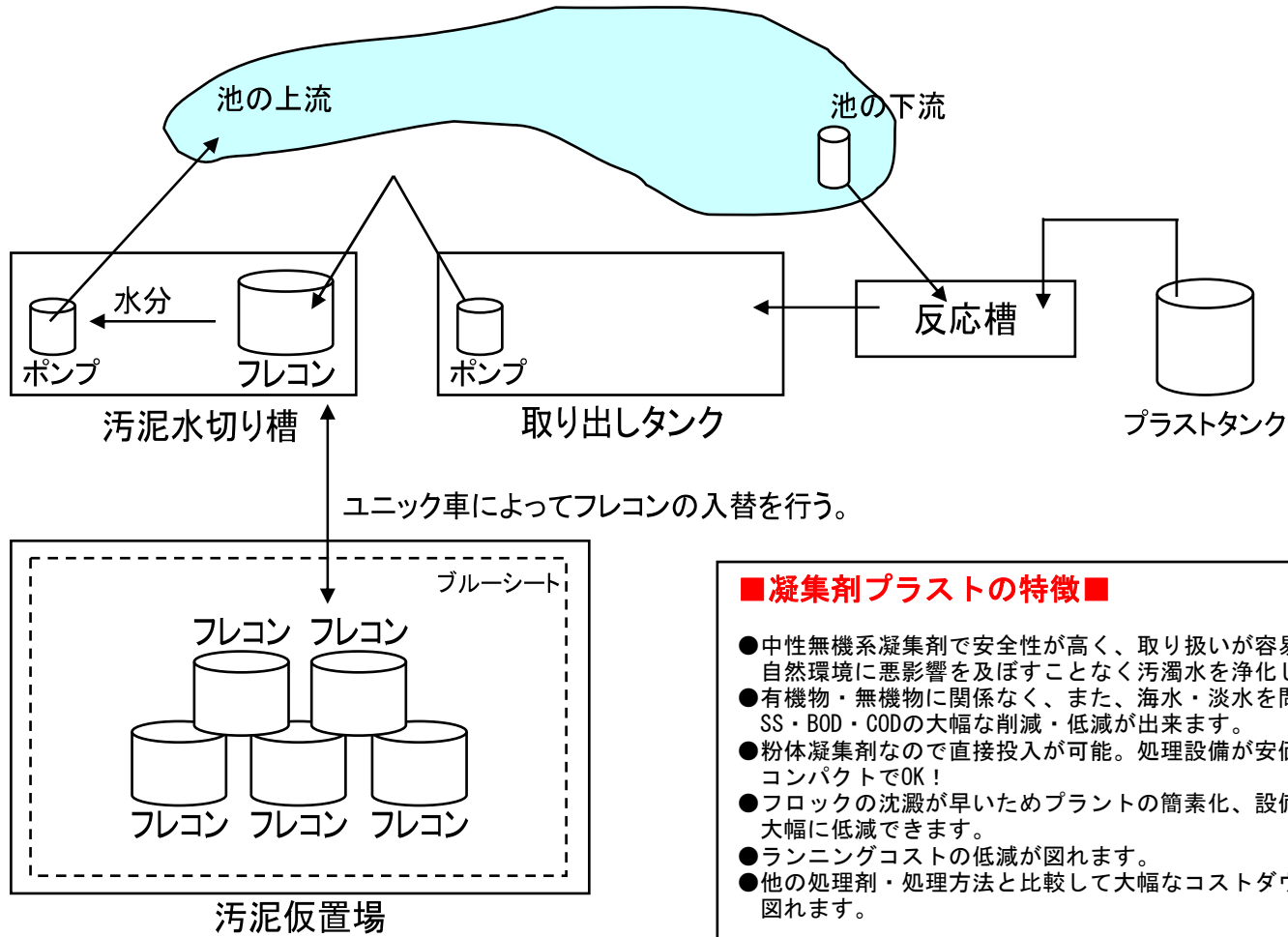
(上流部)

1. 位置図
2. 処理面積 1000 m<sup>2</sup> 上流部 (池の半分) を処理する
3. 汚泥推定量 1000 m<sup>3</sup> 内、砂利 100 m<sup>3</sup>
4. 処理方法 (凝集剤プラスト使用……砂利を残す)
5. 処理日程及び工程表 (フローシート)
6. 経費
  - 施設器具 (ポンプ、リフト、水切りフレコン、鉄板)
  - 汚濁水処理装置
  - 人件費
  - その他 泥土処分費 (園内の場合)

※注 産廃処理費は除く。

- ① 橋の上で仕切る
- ② 上流の水を引いて汚濁水処理
  - イ) 硬土部分、砂利が 100 t の推定量 (砂利は処理後、戻す)
  - ロ) 鯉は下流部に移す
- ③ 天候の状況によるが、2～3日フレコンバッグに入れ、乾燥し、園内で改良土処理する
- ④ 工事の期間は7日程度 (天候で多少前後する)
  - イ) 汚泥処理 3～4日
  - ロ) 残土処理 1日
  - ハ) 準備と後片付けに各1日ずつの計2日

## ●●池 汚濁水処理フローシート



### ■凝集剤プラスタの特徴■

- 中性無機系凝集剤で安全性が高く、取り扱いが容易なため、自然環境に悪影響を及ぼすことなく汚濁水を浄化します。
- 有機物・無機物に関係なく、また、海水・淡水を問わずSS・BOD・CODの大幅な削減・低減が出来ます。
- 粉体凝集剤なので直接投入が可能。処理設備が安価・コンパクトでOK!
- フロックの沈澱が早いのでプラントの簡素化、設備投資が大幅に低減できます。
- ランニングコストの低減が図れます。
- 他の処理剤・処理方法と比較して大幅なコストダウンが図れます。

●●池



# 砂利採取現場

